



住みよい災害公営住宅の整備を進めています

東日本大震災により県内全域において、住宅に甚大な被害が生じました。
県では、平成27年度までに約1万5000戸の災害公営住宅を整備することとし、官民で連携しながら、着実な整備に向けて取り組みを進めています。

災害公営住宅の整備

災害公営住宅は、震災により住宅を失い、自ら住宅を確保することが困難な方に対して、安定した生活を確保してもらうために、地方公共団体が国の助成を受けて整備する低廉な家賃の公営住宅です。
県では、平成24年7月に市町村と連携して、災害公営住宅整備の基本的な考え方や地域特性に配慮した取り組みなどを分かりやすく示した「宮城県災害公営住宅整備指針(ガイドライン)」を策定しました。ガイドラインでは、少子高齢社会に対応した住まいづくりや地域コミュニティの維持を図るための取り組み、防災的な機能の導入などを示しています。

このガイドラインの考え方を基本とし、地域の実情に応じて快適で安心できる良好な居住空間を備えた、住みよい災害公営住宅整備を推進しています。



低層住宅団地の整備イメージ



中高層住宅団地の整備イメージ

現在の整備状況

災害公営住宅は、平成25年11月末時点で、予定整備戸数約1万5千戸のうち、21市町・126地区で9067戸の事業に着手し、そのうち、17市町・50地区の26839戸で工事に着手しています。なお、5市町・10地区・157戸は工事が完了し、順次入居を開始しています。



平成25年3月完成



平成25年3月完成

着実な整備に向けて

災害公営住宅の整備には、主に次の手法があります。

- ①自治体が直接建設する方法
 - ②民間事業者などが建設した住宅を自治体が災害公営住宅として買い取る方法
 - ③民間事業者などが建設した住宅を自治体が災害公営住宅として一定期間借り上げる方法
- 事業主体となる県や市町村では、これらの中から、地域の実情に応じた最適な整備手法を選択し、各手法の長所を生かして、早期整備を目指しています。
- また、計画的に建設工事を進めるため、県から工事発注に関する積極的な情報発信を行い、工事入札の不調を防止するなど、着実な整備に向けた取り組みを進めています。

※宮城県災害公営住宅整備指針(ガイドライン)や災害公営住宅整備の計画工程、進捗状況などについての詳細は、県復興住宅整備室のホームページをご覧ください。
URL <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukujuu/>

みやぎの住宅再建を力強く推進しています

良質な地元木材を迅速供給



南三陸町木造災害公営住宅建設推進協議会事務局長 浅野 浩一郎さん

宮城の地域産木材と地元の技術を活用して災害公営住宅を建設するため平成24年4月、南三陸町の建設業者らが集まって木造災害公営住宅建設推進協議会を設立した。県森林組合連合会の業務部長を務める浅野浩一郎さんが事務局長として「オール南三陸」の力をけん引する。

同様の組織は平成25年2月に登米市、9月に亘理町にも設立。石巻、気仙沼、名取、女川の4市町では、地元工務店などが事業者組織を立ち上げており、県森林組合連合会が木材の円滑供給を支える態勢をとる。

「地元の建設関係業者が一体となって災害公営住宅

の仕事を受注できる仕組みにしました。地元業者が公営住宅の建設に関わることによって、これから個人の復興住宅やリフォーム、建て替えなどの仕事につながることを期待しています」。浅野さんは復興需要が地元の活性化に貢献することを望んでいる。

宮城で2万2千戸に上った仮設住宅建設の際、大手ハウスメーカーなどのプレハブ協会に発注が集中。素早く連携できなかった地元業者による木造仮設の受注は全体の1%にも満たなかったという反省が背景にあった。

南三陸では約千戸と見込まれる災害公営住宅のうち、2割ほどの建設を協議会で担う。登米、亘理でも一定戸数の事業化が決まった。完成後は自治体がいり取って管理する方式となる。

「被災者の生活再建のために住宅建設が円滑に進むことが大切。良質な木材を迅速に、安定的に供給するように努めます」。浅野さんは力強く語った。

地元工務店の技術生かして



宮城県優良住宅協会事務局長 大竹 雅之さん

主に住宅建築を手掛ける宮城県内の工務店56社で構成する組織で、建築士の大竹雅之さん(都市リサーチ設計代表取締役)が事務局長を務める。会員相互の情報交換、技術向上に努めてきたが、復興に貢献しようと、組織として災害公営住宅と個人の復興住宅建設に取り組むことになった。

「災害公営住宅の仕事を、大手のハウスメーカーに独占されてしまうという危機感が背景にありました。質にこだわり、技術も高い地元の業者が結束すれば、大手に負けない。地元が受注することにより、お金が地元に戻えられる率が高まり、地域経済が潤います」。大竹

さんは地元業者のメリットを強調する。

石巻市、東松島市では協会が行政との間に立ち、公営住宅建設を担う事業協同組合を組織した。資材の購入を合理化するなど業者が集まった利点を生かし、受注を目指す。

自力再建に乗り出す人たちの復興住宅建設も積極的に支援する。地域型住宅「絆のちから」と銘打ち、会員企業の技術力、伝統と信用などを売り込むパンフレットを作製。工務店の技術を磨いた「大工塾」の成果や、地域住宅計画賞を受賞した復興住宅プロジェクトの優秀性もアピールする。

「ほとんどが老舗の工務店なので地元で信頼されています。設計段階で施主と何度でも打ち合わせをしますから、いろいろな相談、注文を持ち掛けられます。ぜひオーダーメードで家を再建してほしい。アフターサービスにも組織的に末永く対応します」。宮城の素材と人材を生かした「みやぎの家」に自信を示した。

■企画／県広報課 ◎お問い合わせ／県復興住宅整備室 022(266)1066

県からのお知らせ

みやぎ男女共同参画相談室「男性相談」

夫婦、家族間の問題や男女共同参画に関するさまざまな悩み事について、男性が気軽に相談できるよう毎週1回男性相談員による電話相談を実施しています(相談無料)。
●男性相談(電話) 毎週水曜(祝日・休日を除く)午後0時30分～4時30分
【男性相談電話】☎022(211)2557
※一般相談・法律相談では男性・女性どちらからの相談も受け付けています。
●一般相談/平日午前8時30分～午後4時45分(電話相談(要望により面接相談可))
【一般相談電話】☎022(211)2570
●法律相談(面接)/毎月第4木曜午後1時～4時30分(女性弁護士による面接相談、要予約(一般相談電話で予約))
☎ 県共同参画社会推進課 ☎022(211)2568

宮城障害者職業能力開発校 平成26年度普通課程 訓練受講生2次募集

●科名/①OAビジネス科②情報システム科③デジタルデザイン科
●内容/①各種ビジネスソフトによる事務処理・簿記会計などの習得②情報技術およびビジネスソフトの操作技能などの習得③パソコンによるデザイン作業などの習得
●対象・定員/身体障害者手帳所持者・①6人②7人③8人
●訓練期間/4月9日(水)から平成27年3月●選考日/2月18日(火)筆記・面接など●費用/①約4万円②約3万円
●申込期間/1月8日(水)～2月4日(火)●申込先/お住まいの地域を担当するハローワーク
☎ 宮城障害者職業能力開発校 ☎022(233)3124 FAX 022(233)3125 <http://www.pref.miyagi.jp/site/miyashou/>

国税の還付申告・確定申告は電子証明書で

電子証明書を利用したe-Tax(国税電子申告・納税システム)による所得税の還付申告が1月6日(月)から、確定申告が2月17日(月)から始まります。電子証明書があるとインターネットを通じて各申告ができるようになります。この機会に電子証明書を取得してみませんか。
●取得方法/住民票のある市区町村の窓口で、住民基本台帳カードを入手後に電子証明発行申請書などを提出
●電子証明発行手数料/500円(住民基本台帳カードの発行に別途500円程度)
●利用に必要なもの/インターネットに接続したパソコン、ICカードリーダライタ
☎ 県情報政策課 ☎022(211)2472

自治医科大学医学部入学試験

●出願資格/高等学校卒業(卒業見込みを含む)またはこれと同等以上の学力があると認められる方
●第1次試験日/1月27日(月)、28日(火)
●場所/県自治会館
●出願/1月6日(月)～22日(水)に持参または書留郵便などにより下記へ(郵送の場合1月21日(火)消印有効)
●願書/下記で配布
☎ 県医療整備課 ☎022(211)2618 〒980-8570(住所不要)県医療整備課

「グローバルリーダー育成」事業の交流プログラム参加青年募集

世界8カ国の外国人青年約70人と日本人青年約90人が共に学ぶ「グローバルリーダー育成事業」の一環として、石巻市で交流プログラムを実施します。
交流プログラムへの参加青年を募集します。
●内容/客船にのぼる丸宿泊や石巻市内の

視察を通じて、事業に参加する青年と交流

●対象・定員/宮城県に居住、または下記期間に宮城県に滞在している18歳～30歳の方・40人程度
●期間/2月6日(木)～8日(土)
●申し込み/1月14日(火)(午前10時必着)までにEメールに必要書類(下記ホームページに掲載)を添付し、下記へ
☎ 県共同参画社会推進課 ☎022(211)2577 Eメール global-ishinomaki@iyeo.or.jp <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seisyoindex.html>

女性医師による女性の健康相談

女性の健康増進や禁煙に関する相談、思春期や更年期に伴う身体的・精神的不調、家庭や職場でのストレスなどで悩んでいる女性の相談に応じます(完全予約制・相談無料)。
●相談日・開催地域/1月11日(土)・大崎市、1月25日(土)・塩竈市、2月1日(土)・大河原町
●場所/予約制の発行にて伝えます。
●予約先/☎090(5840)1993(平日午前9時～午後5時)
※予約は上記携帯電話のみで受け付けます。
☎ 県健康推進課 ☎022(211)2623

出張ハローワーク in 山元

東日本大震災で発生した災害廃棄物の処理業務に従事していた方や、亘理・大河原地域などで就職を希望されている方を対象とした就職支援イベントを開催します。
●内容/企業説明会、就職面接会、各種就職支援セミナー、職業相談など
●日時/1月27日(月)午後1時～4時(午後0時30分から受け付け)
●場所/山元町中央公民館2階大ホール
☎ ハローワーク仙台 ☎022(299)8814 ☎ 県雇用対策課 ☎022(211)2772

「女性のチカラは企業の力」普及推進シンポジウム

職場における女性の積極的活用やワーク・ライフ・バランスについて、企業関係者や県民の皆さんと一緒に考えるシンポジウムを開催します(入場無料)。
●内容/平成25年度「いきいき男女・にこにこ子育て応援企業」知事表彰、基調講演「日本経済の活性化と女性の活躍促進」(講師:内閣府大臣官房審議官 別府充彦氏)、パネルディスカッション「みやぎの明日を拓く企業戦略—女性の活躍促進とワーク・ライフ・バランス—」
●対象・定員/一般県民・500人(先着順)
●日時/1月28日(火)午後1時30分～4時30分
●場所/仙台市市民会館 小ホール
●申し込み/1月27日(月)までに申込用紙に必要事項を記入し、ファクシミリまたはEメールにより下記へ
●申込用紙/下記ホームページからダウンロード
☎ 県共同参画社会推進課 ☎022(211)2568 FAX 022(211)2392 Eメール danjyo@pref.miyagi.jp <http://www.pref.miyagi.jp/site/kyousha/>

気仙沼高等技術専門学校 再就職訓練(短期課程) 受講生募集

●科名/医療事務科
●内容/医療事務の知識および技術の習得
●対象・定員/求職活動中で、ハローワークに相談しており、公共職業安定所長の受講指示、受講推薦または支援指示を受けられる方・20人
●訓練期間/2月26日(水)～5月23日(金)
●選考日(面接)/2月12日(水)
●費用/受講料無料、教材費約1万5000円
●申込期間/1月22日(水)～2月5日(水)
●申込先/お住まいの地域を担当するハローワーク
☎ 気仙沼高等技術専門学校 ☎0226(22)7068

産学官連携フェア2014 winter みやぎ

●内容/①学術研究機関などの研究成果、復興への取り組みを産業界に紹介し、交流を推進するポスターセッション②特別講演「ものづくりと暮らしの潮流を創る—ネイチャー・テクノロジー—」(講師:東北大学教授 石田秀輝氏)
●日時/1月28日(火)①午前10時30分～午後4時②午後2時～3時30分
●場所/仙台国際センター
●費用/無料(申し込み不要)
※東北大学主催「東北大学イノベーションフェア」およびみやぎ工業会主催「産学官交流大会」と同時開催
☎ みやぎ産業振興機構 ☎022(225)6638 ☎ 県新産業振興課 ☎022(211)2722

測量士・測量士補国家試験

●試験日/5月25日(日)
●試験地/宮城県ほか全国13都道府県
●願書/1月7日(火)から下記および県内の各土木事務所配布
●出願/1月7日(火)～2月7日(金)に国土地理院試験事務課へ
☎ 国土地理院 [総務部総務課] ☎029(864)8214 ☎ 県用地課 ☎022(211)3122

これからの川づくりについて、一緒に考えてみませんか?

地域の意見を反映した川づくりを推進していくため、流域に暮らす地域住民のみなさんの意見を聴く会を開催します(申し込み不要)。
●対象地域/①五間堀川および増田川②北上川③南沢川(および羽沢川など)
●日時・場所/①1月27日(月)・若沼役所1階大会議室、1月28日(火)・名取役所6階会議室②1月31日(金)・県登米合同庁舎5階大会議室③②とも午後7時から
☎ 県河川課 ☎022(211)3173

※日程や申込方法など、各記事のより詳しい内容は(画)にお問い合わせください。アドレスを掲載している記事は、ホームページにも詳しい情報があります。

宮城の「食」の「伝え人(びと)」をご活用ください

県では、県民の皆さんに食材王国みやぎの魅力を伝えるため、宮城の「食」に関してプロフェッショナルな方々に「食材王国みやぎ伝え人(びと)」として登録いただいています。
「伝え人(びと)」は、「食」に関するセミナーや料理講習会などの講師として活動するほか、食品工場見学、食品加工体験などの受け入れもしています。
地元の「食」について学ぶ授業や普及活動などの一環として、ぜひ「伝え人(びと)」をご活用ください。
「伝え人(びと)」の登録者、活用方法などは、下記ホームページをご覧ください。
☎ 県食産業振興課 ☎022(211)2814 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/syokushin/tutaebito.html>

東北歴史博物館ボランティア募集

●活動内容/屋外展示施設「今野家住宅」での解説・管理補助(月2回程度)、および各種体験教室での指導補助など
●活動期間/4月～平成27年3月(事前に養成講座あり)
●定員/10人程度
●募集期限/3月1日(土)
☎ 東北歴史博物館 ☎022(368)0106 <http://www.thm.pref.miyagi.jp/>

多文化共生シンポジウム in 石巻

国籍や民族などの違いにかかわらず人権が尊重され、誰もが地域社会に参画できる「多文化共生社会」の形成を目指し、シンポジウムを開催します(入場無料)。
●内容/基調講演「在日外国籍住民の安否確認

～東日本大震災をふりかえって～(講師:自治体国際化協会業務部長 高橋政司氏)、パネルディスカッション「外国人の地域社会参画による地域づくりなど」
●定員/100人(先着順)
●日時/1月26日(日)午後1時～3時30分
●場所/石巻市遊楽館
●申し込み/1月24日(金)までに氏名、参加人数をEメールに記入し、または電話により下記へ
☎ 県国際経済・交流課 ☎022(211)2972 Eメール kokusai@pref.miyagi.jp

宮城県内の「働く障がい者」を応援したい皆さんへ

「障害者の社会参加を応援したいが、障害者が働く福祉事業所がどこにあるのか、どんな製品を作っているのか分からない」という方が多いのではないのでしょうか?
下記センターでは、福祉事業所で製作された商品(Tシャツ、卒園記念品、お弁当など)や実施できる作業(袋詰めやシール貼りなど)の紹介、共同受注などを行っています。お気軽にお問い合わせください。
☎ みやぎセルフ協働受注センター ☎022(399)6299 FAX 022(306)2515 Eメール info@miyagi-selp.org <http://www.miyagi-selp.org>
☎ 県障害福祉課 ☎022(211)2541

「宮城県広報課フェイスブック」で情報発信中!

イベントやお知らせなど県からの旬な情報を写真や動画でお届けしています。フェイスブックで「宮城県広報課」と検索するか、下記ホームページからご覧ください。「宮城県広報課フェイスブック」に「いいね!」をしていただくと、随時、情報が受信できるようになります。
<https://www.facebook.com/pref.miyagi>